



10,000日分の 経験のその先に

松井 正幸 MATSUI Masayuki

総務省情報流通行政局地上放送課長

これまでのキャリアをふりかえって

国に係わる仕事をしたいと思い国家公務員を志望し、官庁訪問を通じて「人と人をつなぐ仕事」に興味を持って入省しておよそ27年、10,000日が経ちました。あっという間というのが直感ですが、3度の海外を含めて、入省時には想像もできなかった数多くの貴重な経験ができ、自分自身の視野も大きく広がったと感じます。携わったどの分野の仕事も常に新たな発見と気づき、何よりも担当しなかったら出会えなかった素晴らしい人々との出会いがありました。大きく変動する世界情勢の中で、日本の持てる力は何か、その力を最大限発揮するために何ができるのか、これまで得られた経験をフル活用して日々の仕事に取り組んでいます。

総務省には日本の未来を創っていくために取り組まなければいけない課題がたくさんあります。皆さんと一緒に取り組んで、まだ見ぬ新たな経験ができることを楽しみにしています。



フエノスアイレスの放送局にて意見交換

2021～現在 情報流通振興課長、地上放送課長

情報流通振興課では、偽情報への対応など子どもから高齢者まで安心してデジタルを活用できるようテラシー向上への取組を進めました。また、新しい働き方としてのテレワークの普及、定着に取組みました。現在は、地上放送課にて地上波テレビ・ラジオ放送の担当として、デジタル時代に放送がその役割をしっかりと果たしていけるよう、取り組んでいます。

2018～2021 外務省在アメリカ合衆国日本国大使館参事官

トランプ政権とバイデン政権の3年間、5Gやサイバーセキュリティなどデジタル分野の国際情勢が新しい局面を迎える中、ワシントンDCにて日米デジタル協力の推進に取り組みました。安倍総理、菅総理の訪米に携われたこと、特に菅総理とバイデン大統領の日米首脳会談の際の共同声明に5G協力を盛り込むことができたことは大きな経験となりました。

2014～2017 総務大臣秘書官

総務大臣の秘書官として約3年間お仕えしました。常にスピード感を持って国民・生活者の視点に立って施策を進める大臣に必死についていく日々でした。大臣と大臣を支える大臣室チームと一緒に過ごした1,066日は今でも大切な財産です。

2010～2014 消費者行政課課長補佐、電気通信利用者情報政策室長

スマートフォンが急速に普及する中、青少年のスマートフォンの安心安全な利用、インターネット上の違法有害情報やプライバシーへの対応など、デジタルの活用を進めながら不安なく安心安全に利活用できる環境作りに向けて、前例のない新たな課題に全力で取り組みました。

2007～2010 国際経済課課長補佐

南米の地上デジタル放送日本方式の海外展開を担当しました。南米9か国を訪問し、各国政府やテレビ局等の関係者に何度も会い、日本方式の説明や採用に向けた交渉を重ねる中で、各国からの日本への信頼と期待を強く感じました。南米9か国が日本方式を採用したのは総務省、外務省、現地大使館、企業関係者等のチームでの取組の成果でした。

2002～2004 経済協力開発機構(OECD)事務局

パリのOECD事務局にて、加盟国のICT政策やサービスの展開状況に関する調査を担当しました。インターネットドメインやブロードバンドサービスについて加盟国の状況について調査報告書をまとめ、加盟国の前で発表するのは最も緊張する場面でした。パリでの生活も忘れられない思い出です。

1996～2002 郵務局国際課、宇宙通信政策課、米国学、科学技術庁出向

入省最初の2年間は国際郵便と宇宙通信を担当しました。万国郵便連合(UPU)やNASAとのやり取りなど国際業務を担当させてもらったことで、海外への関心を持ち、米国学につながりました。



パラグアイで地デジ日本方式説明会を開催